

令和6年6月26日

白岡市議会議長 大 島 勉 様

文教厚生常任委員長 斎 藤 信 治

文教厚生常任委員会調査報告書

本委員会に付託の調査事件について、白岡市議会会議規則第105条の規定により別紙のとおり報告いたします。

調査事件名

○市内小学校の教育環境について

文教厚生常任委員会調査報告書

1 調査事件名 市内小学校の教育環境について

2 調査の経過

(1) 調査年月日 令和6年5月10日（金）

(2) 調査場所 白岡市役所庁舎4階特別大会議室
白岡市立西小学校

(3) 出席者 委員長 斎藤 信治 副委員長 嶋田 友一郎
委員 細井 藤夫 委員 野々口 眞由美
委員 菱沼 あゆ美 委員 大島 勉
教育部長 長谷川 亘 同部教育総務課長 高垣 秀樹
同部参事兼教育指導課長 蓮見 宣宏 議会事務局書記

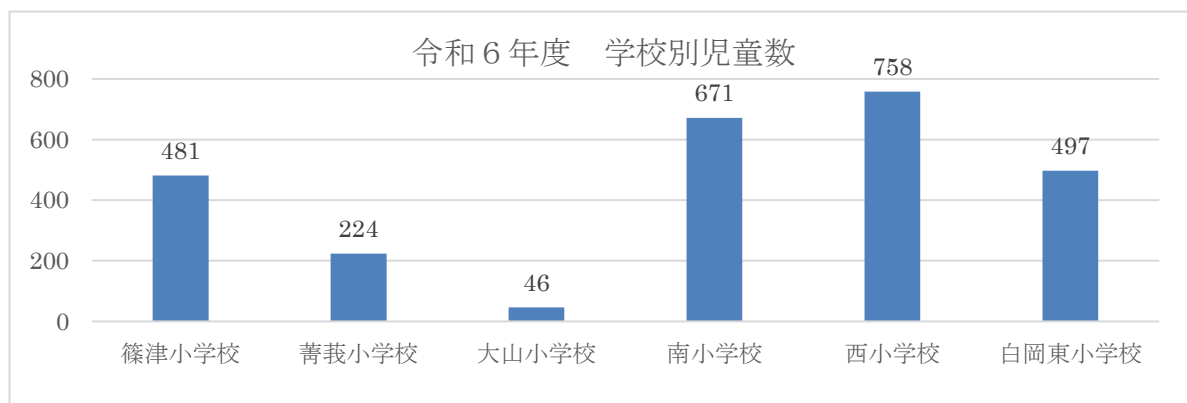
(4) 調査の概要

ア 調査の背景

当市は、順調な発展を続けてきた中で、平成24年10月に単独市制施行を果たし、その後の人口数は緩やかな増加をたどってきているが、近年は横ばい、あるいは減少の傾向が見受けられるときがある。地域別においては、市街化区域と市街化調整区域の人口の多寡に比例して、児童数の差異が大きく、教育環境にも少なからず影響を及ぼしていると推察される。

そこで、当委員会では、市内小学校の教育環境について調査した。

イ 学校別の児童数の偏りについて



児童数の少ない菁莪小学校では、学年によってクラス替えができず、また、大山小学校は市費負担任期付教職員を配置し複式学級を解消して

いるが、令和6年度末での廃校を予定している。

一方で、西小学校は児童数が増加している。

ウ 児童数の推移（平成22年～令和11年）について

小学校	H22	20年間の 児童数の推移	R11（想定）
篠津小学校	市全体 2,761人⇒	ほぼ横ばい	市全体 ⇒ 2,350人 (411人減少。 *篠津小学校の 約85%に相当)
菁莪小学校		約1／2に減少	
大山小学校		令和6年度廃校	
南小学校		161人減少	
西小学校		171人増加	
白岡東小学校		146人減少	

エ 児童数及び学級数の推移、教室の活用状況

令和11年度の児童数推定を令和6年度と比較すると、全ての小学校で児童数が減少し、篠津小学校以外の4校で学級数も減少すると見込んでいる。

篠津小	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計
児童数R6 (R11推定値)	82 (61)	60 (72)	75 (70)	82 (76)	97 (71)	72 (82)	13 (13)	481 (445)
学級数R6 (R11推定値)	3 (2)	2 (3)	3 (2)	3 (3)	3 (3)	2 (3)	3 (3)	19 (19)

*令和11年度には、児童数は36名減少すると見込んでいる。

*令和7年度及び8年度の学級数は20学級になると見込んでおり、令和6年度にパソコン室を普通教室に改修し、対応する予定である。

*学習室は、過去に普通教室として使用していた経緯があり、普通教室に転用可能である。

*□:クラス替えができない学年

菁莪小	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	計
児童数R6 (R11推定値)	31 (15)	33 (21)	37 (25)	36 (27)	43 (32)	38 (31)	6 (6)	224 (157)
学級数R6 (R11推定値)	1 (1)	1 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	1 (1)	2 (2)	11 (8)

*令和11年度には、児童数は67名減少し、全学年が35人以下となり、クラス替えができない状況に至る。

* 令和 6 年度及び 7 年度の学級数 1 1 学級が最大と見込んでいる。

* 教材室及び算数ルームは、過去に普通教室として使用していた経緯があり、普通教室に転用可能である。

* □: クラス替えができない学年、■: 複式学級となる学年

大山小	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別支援	計
児童数R6	4	6	5	11	10	7	3	46
学級数R6	1	1	1	1	1	1	2	8

* 令和 6 年度で廃校、令和 7 年度から西小学校に編入する予定である。

南小	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別支援	計
児童数R6 (R11推定値)	84 (102)	106 (106)	114 (100)	115 (88)	118 (103)	113 (84)	21 (21)	671 (604)
学級数R6 (R11推定値)	3 (3)	4 (4)	4 (3)	4 (3)	4 (3)	4 (3)	5 (5)	28 (24)

* 令和 1 1 年度には、児童数は 6 7 名減少すると見込んでいる。

* 令和 6 年度の学級数 2 8 学級が最大と見込んでいる。

* 学習室 1 は、過去に普通教室として使用していた経緯があり、普通教室に転用可能である。

西小	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別支援	計
児童数R6 (R11推定値)	132 (100)	107 (123)	119 (128)	116 (108)	119 (129)	136 (136)	29 (32)	758 (756)
学級数R6 (R11推定値)	4 (3)	4 (4)	4 (4)	4 (4)	4 (4)	4 (4)	5 (5)	29 (28)

* 令和 7 年度から大山小学校の学区の児童が編入するため児童数は増加するが、学級数は増加せず、令和 6 年度から 1 0 年度までは 2 9 学級のままととなる。令和 1 1 年度には、児童数が 2 名減少し、学級数も 2 8 学級に減少すると見込んでいる。

白岡東小	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別支援	計
児童数R6 (R11推定値)	78 (50)	79 (61)	80 (49)	83 (66)	80 (71)	84 (78)	13 (13)	497 (388)
学級数R6 (R11推定値)	3 (2)	3 (2)	3 (2)	3 (2)	3 (3)	3 (3)	2 (2)	20 (16)

＊令和１１年度には、児童数は１０９名減少すると見込んでいる。

＊令和６年度及び７年度の学級数２０学級が最大と見込んでいる。

オ 現地調査（白岡市立西小学校）

大山小学校の廃校に伴い受入先となっている西小学校の現状を把握するため、現地調査を行った。状況は次のとおりである。

- ・現時点で空き教室がない。
- ・市内でクラス数及び児童数が最大である。
- ・低学年用の学校図書館を一部なくしたことで、配置できない分の蔵書を実動式の書架台に置き、廊下に配置している。
- ・教室にあるべき児童の道具や教室の備品が廊下に並べて置かれている。（スペースを作り出し、工夫が見られた。）
- ・特別教室として図工室を確保することができない状態であり、廊下で電動糸のこぎりをを用いた作業を行っている。また、絵などを乾かす台も置場に困っているような様子である。
- ・更衣室となる教室がないため、通路の踊り場にパーティションを立てて着替えている。
- ・１年生はあと５名増加すると１クラス増やすことになるため、現在、少人数の算数授業でも使用している図書室を潰すことになる。
- ・職員室は、通路の確保が困難なほど窮屈な状況である。

３ 意見

市内全小学校の児童数の推移が示され、大きな偏りが生じていることを改めて認識し、どの小学校でもここ数年で児童数のピークを迎え、その後は減少に転じることを考慮すると、学校適正配置計画をしっかりと考えていかなければならない。それに併せて、市街化区域への若年層人口の流入による児童数の予測を踏まえた学校統廃合についても、余裕ある学区適正化を図るべきである。

また、西小学校においては、教育の質や児童の安全を確保するため、現場教職員による相当な工夫の下でぎりぎりの運営であることを実感した。令和７年度からは大山小学校の児童も一緒に学ぶことになることから、保護者の意見にも対応できるよう、西小学校における教育環境の懸念材料は少しでも

減らすべきと考える。

執行機関は、学校適正配置計画や学区適正化を踏まえて、各小学校の学習環境の公平性を保ち、余裕をもった学校運営ができるよう、教室増数等の早急な対策など、教育環境の改善に努めていただきたい。